



2016年3月15日

報道関係者各位

お客様のショッピング体験をさらに便利にするためのイノベーションを推進
Amazon、エンジニア人材のワーキンググループとして
Amazon Japan Development Center を開設
～ ソフトウェア・エンジニアなどの技術職を年内に約 100 名新規雇用 ～
<http://jp.amazon-engineer.com>

アマゾン ジャパン株式会社（東京都目黒区）は、Amazon のエンジニア人材のワーキンググループとして「Amazon Japan Development Center」が Amazon 内に開設されたことを発表致します。また 2016 年中に「Amazon Japan Development Center」に所属するソフトウェア・エンジニアなどの技術職社員を新たに 100 名ほど雇用することを目指すこともあわせて発表致します。

Amazon にとってエンジニア人材は、企業ビジョンである「地球上で最もお客様を大切にすること」を実現し、お客様により便利なサービスを提供するための重要な役割を担っています。現在 Amazon は日本だけで約 3,500 名の従業員を直接雇用しており、そのうち約 100 名を占めるエンジニアたちは、International Technology、Search Experience、Mobile Shopping and Points、Fashion Connection、A9 Relevance、A9 Search、Personalization、Seller Services、Information Services、AWS という 11 部門において、日本を拠点に、世界中のお客様に革新的な付加価値を提供するための様々なグローバルプロジェクトに参画しています。Amazon では、社内のエンジニア人材が部門を横断して交流や連携を深め、経験やスキルを共有し、互いに切磋琢磨できる環境を整えるべく、この度、「Amazon Japan Development Center」を開設しました。「Amazon Japan Development Center」は、エンジニア育成に関わる社内アクティビティのみならず、今後はセミナーやワークショップなどのイベントを通じて社外のディベロッパーや、将来エンジニアとしてのキャリアを考える学生や若者に対する啓発活動も積極的に実施する予定です。

アマゾン ジャパン株式会社 代表取締役 ジャスパー・チャンは次のように語っています。「Amazon Japan Development Center を通じエンジニアやディベロッパーなどの雇用を新たに創出することで、お客様にさらにご満足いただける新たなサービスの開発を加速できることを嬉しく思います。Amazon は日本経済に長期的に関与しており、今後も日本における投資や雇用創出を継続してまいります」。

アマゾンは、今後もお客様のさらなる利便性とカスタマーエクスペリエンスの向上を追求し、サービスの強化に努めてまいります。

Amazon.com について

Amazon は、1995 年 7 月に World Wide Web 上でスタートしました。Amazon は 4 つの理念を指針としています。競合他社ではなくお客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。カスタマーレビュー、1-Click 注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazon プライム、フルフィルメント by Amazon (FBA)、Amazon Web Services (AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Fire Phone、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa などは、Amazon が先駆けて提供している商品やサービスです。詳細は www.amazon.com/about をご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問合せ先

アマゾン ジャパン株式会社
プレス対応 Tel: 03-6367-4117
プレス対応 E-mail: press@amazon.co.jp

株式会社プラップジャパン
Tel: 03-4580-9101
E-mail: pr-amazon@ml.prap.co.jp